

# NACCSプログラム変更要望\_実施案件（2026年度分）

2026/3/31

| 項番      | 業務区分 | 業務コード | 要望の概要                                      | 現在のシステムの仕様<br>現在の運用【必須】  | 要望の詳細   | 理由・効果  | 検討結果              |
|---------|------|-------|--|--|---|--|-------------------|
| R07-004 | 通関   |       | 添付業務（MSX等）の連続送信の際に、添付ファイルの自動添付が出来る方法について   | パッケージソフトでは、添付できない。   | 複数の申告につき、外部ファイルの連続送信を行う場合が多くなっております。同じく複数の添付業務(MSX等)を連続送信で処理したいと思いますが、ファイル添付は自動で出来ないため、結局個々の添付をしないといけない状況です。<br>添付業務の連続送信の際に、添付ファイルの自動添付が出来る方法について、ご検討頂きたくお願いいたします。   |  | 2026年度プログラム変更実施案件 |
| R07-010 |      |       | NACCSパッケージソフトにおける利用者操作後のスクロール位置の固定の廃止      | パッケージソフトにおいて、電文受信時などで送受信電文一覧が更新された際に、自動でスクロールされず電文の受信に気づきにくい。  | 利用者操作後の送受信電文一覧のスクロール位置の固定を廃止して、変更前のスクロールする設定にして欲しい。<br>スクロール位置を固定されると、最新のデータを参照するために都度スクロールの必要が発生し、無駄な操作が増加している。<br>スクロール位置の固定を廃止して頂くか、利用者が一覧を最新（一番上）の情報を表示している場合はスクロールする、利用者が一覧をスクロールしていた場合スクロールされずに固定される、などの変更を行って欲しい。  | 利便性の向上   | 2026年度プログラム変更実施案件 |
| R07-011 |      |       | NACCSパッケージソフトにおける利用者操作後のスクロール位置の固定の廃止      | パッケージソフトにおいて、電文受信時などで送受信電文一覧が更新された際に、自動でスクロールされず電文の受信に気づきにくい。  | 6次の仕様変更項番6N-23-20につきまして、自動スクロールの仕様変更が行われたようですが、変更前の仕様（送受信電文一覧の更新時に自動スクロールする）の方が使いやすかったため、自動スクロールのオンオフを選択できるようにしてほしいです。  | 利便性の向上   | 2026年度プログラム変更実施案件 |
| R07-024 | 通関   |       | CCA業務による輸入申告DB削除起算日の変更                     | CCA業務を実施した場合、輸入申告DB（B501A）の削除可能年月日を業務実施日で更新しているが、共通管理番号輸入申告明細DB（B539B）の削除可能年月日は更新していないため、不要データ削除処理での削除タイミングに差異が発生している。その他、同様の事象あり。 | 輸入申告時に他法令（食品）の共通管理番号を登録したにも関わらず、申告時には共通管理番号のリンクが外れていた。原因としては、IDA業務から数日後に実施されたCCA業務実施時に、輸入申告DB（B501A）は起算日が更新されるのに対し、共通管理番号輸入申告明細DB(B539B)は、CCA業務で更新されずに、当初のIDA実施日が起算日となっていたためであった。申告情報との差異が生じないよう、CCAによって輸入申告DB（B501A）の起算日が更新されるのであれば、輸入申告明細DB(B539B)の起算日も更新してほしい。 | 輸入申告DBと共通管理番号輸入申告明細DBの起算日のずれを解消し、申告時に登録した共通管理番号のリンクが申告時に外れているという事象を防止する。 | 2026年度プログラム変更実施案件 |
| R07-081 | 通関   | IDB   | 航空輸入において申告税関が変更となった際、申告番号の取得し直しを可能にして頂きたい。 | 海上輸入では申告番号を消してIDBすることで、申告官署に対応する新たな申告番号の取得が可能だが、航空輸入は非活性になっており再入力が必要となる。   | 航空輸入においても海上輸入と同様の仕様として頂きたい。   | 申告先変更の際の業務効率化。   | 2026年度プログラム変更実施案件 |

# NACCSプログラム変更要望\_実施案件（2026年度分）

2026/3/31

| 項番      | 業務区分 | 業務コード   | 要望の概要   | 現在のシステムの仕様<br>現在の運用【必須】  | 要望の詳細  | 理由・効果   | 検討結果              |
|---------|------|---------|---|--|--|---|-------------------|
| R07-107 | 通関   | VAA11   | VAA11で数量だけでなく、重量も減って欲しい   | 現在は入力した数量だけ減っていて、入力した重量は変化がない。   | 重量も減って欲しい。   | 正確に入力できたか一目でわかる。手入力が必要に出来る。   | 2026年度プログラム変更実施案件 |
| R07-138 | その他  | -       | NACCSの履歴表示画面で更新されたものを一番上に表示してほしい（以前はできていた画面を自動スクロールに戻してほしい）       | NACCSの履歴表示画面で、NACCSから最新情報の配信があっても、履歴表示画面の位置が変わらないので、最新情報の有無がスクロールしないとわからない。  | 今回、7次NACCSの新機能として、貨物状況通知サービス【CSN】業務が導入されており、最新情報が一番上に表示される設定にしないと、通知が届いても、すぐには確認できない                 | 貨物状況通知サービス【CSN】業務は最新情報をいち早く確認するために必要だが、履歴画面が固定され、最新履歴が画面外に表示されても、すぐには確認できないため。  | 2026年度プログラム変更実施案件 |
| R07-174 | 貨物   | ICG     | ICG(全体情報)から全コンテナを一括でICNできる機能が欲しい。                                 | 1コンテナずつしかICN画面に遷移できない。   | ICG(全体情報)を右クリックして「業務リンク」を選択した際に、その貨物情報に含まれるすべてのコンテナ番号に対して一括してICNできる機能が欲しい。                           | 一括でICNできるようになれば、作業効率の向上となる。   | 2026年度プログラム変更実施案件 |
| R07-210 | 通関   | HHA     | 包括保険申請内容の保険会社による取消機能  | 保険会社では包括保険番号利用の廃止、停止はできない。   | 「仮登録完了」「登録完了」の包括保険番号を、保険会社側で廃止・取消する機能がほしい。   | 包括保険契約を解約して保険会社と取引終了しているにもかかわらず包括保険番号を使用され続け、リスクがあるため。  | 2026年度プログラム変更実施案件 |
| R07-242 | その他  |         | 即時電文取り出し等、データ取り出し時の一覧画面の更新  | 即時電文取り出しや自動でデータを取り出す際に、行った業務の一覧画面が更新されない(データを取り出したかどうかを上スクロールしないと分からない、見えない)。また、複数のデータを取り出ししている際には全ての取り出しが終了しないと画面に反映されない(スクロールしても表示されない)。 | 即時電文取り出し等、データを取り出す際には複数のデータを同時に取り出し、1件ごとに画面に随時表示していただきたい。また、取り出ししていることが分かるように最上部(最新)を一番上に自動的に表示してほしい | 全ての取り出しが終わるまで表示されない為、なんのデータを取り出しているのか、そもそも取り出しをしているのかが分からない。すぐに知りたいものがある場合でも待つ(無駄な)時間が発生する。また、取り出し完了後も毎回、上スクロールしないと見えない(取り出しが完了しても毎回確認しないと見えない)。以前のように1件毎に一覧へ表示していただき、最新の取り出しデータをスクロールせずとも画面上部へ表示していただくとNACCSの取り出し状態が一目で分かるため現在の手間および見落としが無くなります。 | 2026年度プログラム変更実施案件 |
| R07-252 | 通関   | IDI/IES | 輸出入者コード欄にJATPROコードまたは税関発給コードを入力した際に、紐づいて登録されている法人番号に変換し処理を行ってほしい。 | 輸出入者コード欄にJATPROコードまたは税関発給コードを入力しても、紐づいて登録されている法人番号の申告を照会できない。  | 輸出入者コード欄にJATPROコードまたは税関発給コードを入力した際に、紐づいて登録されている法人番号に変換し処理を行ってほしい。                                    | 照会業務の利便性の向上   | 2026年度プログラム変更実施案件 |